

# No.212

# 坂東地域アグリ通信



HPは  
こちら

令和5年6月26日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## アイガモロボ現地検討会が開催されました

5月30日、令和5年度いばらき農業アカデミー有機農業講座にてアイガモロボ現地検討会が開催され、生産者、関係機関合わせて83名が参加しました。

アイガモロボは、水稻の有機栽培に活用できる、水田を自走する自動抑草ロボットです。田面水と土壌表層を攪拌することで雑草の発生を抑制し、収量の確保や機械除草作業の削減による省力化が期待されます。

はじめに、普及センターからアイガモロボ導入効果や深水管理について説明しました。アイガモロボ導入により、従来より機械除草作業を1～2回削減可能であることを説明しました。

次に(有)アグリ山崎の山崎氏から、有機農業に取り組んできて自身が苦労した点やアイガモロボ導入の良い点などのお話をいただきました。参加者からは活発に質問が挙がり、関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、引き続き有機農業に取り組む生産者の支援をしていきます。



## J A茨城むつみ三和地区ここ惚れ人参統一目揃え会が開催されました

5月12日、三和地区ここ惚れ人参統一目揃え会が開催されました。目揃え会では、生産者と市場関係者が意見交換を行いながら出荷規格を再確認し、部会での意識統一を図りました。例年同様に、出荷期間中は生産者とJA職員が出荷物検査を実施しており、品質維持に取り組んでいます。

期間を通じて高品質なニンジンを出荷していることに加え、生産者が協力して取り組んでいる厳しい選別等、その意識の高さが評価され、令和4年度に県の銘柄産地として再指定を受けました。機械導入や規模拡大の動きもみられており、今後も産地がますます発展していくと期待されています。

高品質なニンジンを生産者に届けるために、普及センターでは引き続きJAと連携して、生産力向上を支援していきます。



## JA茨城むつみ玉葱研究会が視察研修を行いました

6月6日、JA茨城むつみ玉葱研究会の視察研修として、生産者や関係機関7名が群馬県渋川市のタマネギほ場を訪問しました。

今回の視察研修では、タマネギ茎葉処理機の作業見学を行うとともに、現地の生産者と栽培管理や作柄状況等について意見交換を行いました。管内産地と異なる栽培条件や収穫作業等、参考となる部分が多かったようで、参加者たちは機械のメンテナンス方法や品種構成等について、熱心に質問する様子が見られました。

JA茨城むつみ玉葱研究会は、加工業務用タマネギの契約栽培に取り組んでおり、今作で6作目を迎えました。今作も5月下旬から早生品種の収穫が始まっており、6月中旬以降は中晩生品種の収穫が始まる見込みです。

玉葱研究会が今後も発展し続けるために、普及センターは引き続き関係機関と連携しながら支援していきます。



## ねぎ立毛競作会が開催されました

岩井農協園芸部では毎年ねぎ立毛競作会を開催しています。これは、初夏ねぎ・夏ねぎを対象とし、各地区から選ばれたほ場を生産委員や関係者が審査するもので、栽培技術や品質の向上、産地の発展を目的として5月～8月にかけて計4回実施しています。



今年の立毛競作会は、5月どりが5月19日、6月どりが6月9日に行われました。審査はほ場審査と現物審査を実施していますが、選出されたいずれのほ場も管理が行き届いており、産地の模範となるものでした。

今作も普及センターは引き続き関係機関と連携しながら高品質安定生産のため、支援していきます。

★「農業いばらき」が月刊誌からwebサイトに変わりました！



QRコードを読み取るか  
URLを直接入力

<https://nouiba.jp/>

## 7月 土壌診断実施日のお知らせ

7月5日（水）、19日（水）の2回の予定です

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

## 編集後記

6月は非常に気候が不安定で、過ごしづらい日々が続きました。地域によっては大雨の影響を受けているところもあるようです。急な天候の変化には十分ご注意ください。

（バティン）